

出題意図

設問 1

学部で授業で学習した古今東西の美術史に関する知識が修得されているか。その知識を正確な日本語で他者に伝えられるか。

設問 2

近代美術史の流れや特徴を捉えているか。作品、作家、作品の受容者の関係を正確にとらえているか。それらを正確な日本語で他者に伝えられるか。

模範解答

設問 I

以下の A～Fの中から 5 問を選び、次に各問の①②のうちから 1 問を選んで解答しなさい。なお、解答には選択した作品・資料、美術史の用語やムーブメント、作家がいつの時代（時期、世紀）のもの（人）か、あるいはいつの時代を起源とするものかを明記すること。各解答の初めには、A—②のように、選択した問題のアルファベットと数字だけを書くこと。（各 80～100 字）

A. ①法隆寺金堂釈迦三尊像 / ②信貴山縁起絵巻

- ① 飛鳥時代（625 年）に鞍首止利によって完成された金銅仏。一光三尊形式をとり、極めて正面観照性が強い像容となっている。釈迦如来像にはいわゆるアルカイックスマイルがみられる。
- ② 平安時代後期を代表する説話絵巻。信貴山の中興、命蓮の霊験譚がもとになっている。長大な画面に出来事の推移を動的に描く。軽妙な人物表現と背景の魅力的な山水描写に特色がみられる。

B. ①コントラポスト / ②三遠法

- ① 古代ギリシャクラシック期の立像に初めて現れる。立像に支脚と遊脚の関係性を与えることにより、人体により自然な形姿を与え、西洋彫刻史における古典主義的立像形式の基本となった。
- ② 山水画の構図につかわれる遠近法。異なる視点（高遠、深遠、平遠）で景色を見て、一幅の画面に景色を描く。鎌倉時代以降、日本にも水墨画の招来とともに三遠法がもたらされた。

C. ①ポントルモ /②エル・グレコ

- ① 16 世紀フィレンツェの画家。絵画の空間、色彩、形体に反自然、反古典主義的な要素が見られ、その画面には暗鬱な雰囲気が充満する。イタリアマニエリスム様式を代表する画家の一人とみなされる。
- ② 16 世紀中頃、ギリシャで生まれ、ヴェネツィアで修行後、スペインのトレドで活躍した画家。彼の宗教作品には、マニエリスム的な要素とともに、対抗宗教改革期の美術指針に則った劇的な構図、色彩がみられる。

D. ①ポスト印象派 /②雑誌「白樺」

- ① 印象派の後、1880 年代からフランスで活動した、ゴッホ、ゴーギャン、セザンヌなどを指す。彼らは色彩や感覚に重きを置いた印象派の態度を継承しつつ、印象派を批判的に消化し、対象を独自の視覚で捉えた。
- ② 明治 43 年に創刊された文芸雑誌。理想主義、人道主義を掲げ、20 世紀初めの文壇を先導した。「白樺」はポスト印象派やロダンなど、同時代の西洋の美術の紹介にも努め、明治画壇にも大きな影響を与えた。

E. ①イコノロジー /②芸術意思 (Kunstwollen)

- ① 20 世紀初めにアビ・ヴァールブルクが唱え、エルヴィン・パノフスキーによって美術史の方法論として確立されたもの。図像の背景にある文化、宗教、政治などの要素を読み取ることで、図像を解釈する。
- ② 20 世紀初めにアロイス・リーグルが提示した、人間には装飾美術に対する思考が太古の時代から備わっているとした考え方で、この哲学は、装飾美術や抽象美術に対する再評価に繋がった。

F. ①パピエ・コレ /②カラーフィールド・ペインティング

- ① 絵画表面に紙を糊で貼る手法。1910 年代にピカソらによって初めて試みられた。包装紙などの既製品を画材として用いた点、絵画が半立体化していった点など、既存の美術や絵画の概念を大きく変えるきっかけとなる。
- ② 第二次世界大戦後のアメリカにおける抽象表現主義運動の中で出てきた一動向。大画面が色数の少ない大きな色面で構成される。代表的な画家として、バーネット・ニューマンやマーク・ロスコがいる。

設問 II

近代以前と以後で、美術作品の受容がどのように変化したかについて、複数の歴史的なできごとに触れながら述べなさい。 (250 字以上)

フランス革命に端を発するヨーロッパ各国における市民革命により、封建制が崩壊したことで、近代以前には権力や経済力を有した王侯貴族や宗教関係者が中心であった美術作品の受容は大きく変化した。具体的には、19 世紀以降、美術作品は次第に大衆に開かれたものとなっていくが、これを後押しした背景には、博物館や美術館の開館や美術市場の広がりがあった。

また、18 世紀後半から 19 世紀初めの産業革命により、安価な大量生産品が大衆に行きわたるようになった。その功罪はさまざまであったが、このことが、作品のオリジナリティーや唯一性を絶対的なものとする美術作品の概念を変えるきっかけになったことも事実である。つまり、作品は唯一絶対ではなくなり、人々は複数の同じ作品を違う空間や時間において享受することも可能となった。19 世紀には写真や映画が生まれたことにより、世界中の人々がオンサイトでなくても、作品を鑑賞できるようにもなった。(390 字)

(250 字以上の分量で、模範解答に書いてあることが 7～8 割書けていれば 80 点)